

盛夏の候、先生方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。  
さて、今号では消化器内科についてご紹介させていただきます。お困りの症例がありましたら、是非ご相談下さい。  
厳しい暑さのみならず、コロナ禍中で落ち着かない日々が続いております。くれぐれもご自愛ください。  
引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 新型経鼻内視鏡の導入と内視鏡治療について

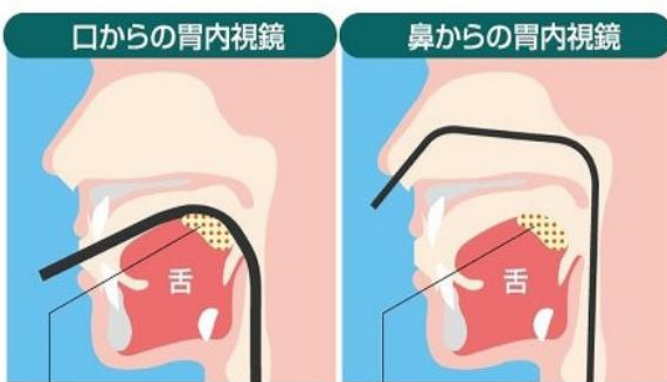
消化器内科 西村 朋之

平素より当院へのご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
2022年9月より新型オリンパス内視鏡システム(EVIS X1)を導入することとなりました。  
それにより従来よりも様々なことが可能となりましたのでご紹介させていただきます。

鼻からの内視鏡挿入は口からに比べて患者様の苦痛が少ないのが特徴です。しかし従来の経鼻内視鏡は経口内視鏡に比べて画質が悪く、当院では上部内視鏡検査は経口内視鏡で行なっておりました。新しく当院に導入される新型経鼻内視鏡(GIF-1200N)では従来の経口内視鏡よりも高画質で検査が可能となっております。  
また直径は約5mmと非常に細くなっておりますので、抗血栓薬内服中で鼻出血のリスクが高い患者様でも口から経鼻内視鏡を挿入することで苦痛を緩和することができます。

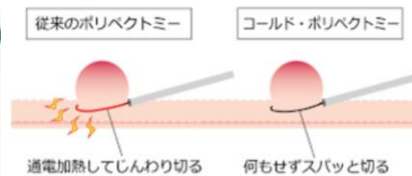
新型内視鏡システム導入に伴い、処置用スコープ(GIF-H290T,PCF-H290TI,GIF-2TQ260M)も導入いたします。食道・胃・大腸のさまざまな内視鏡治療(EMR,ESD etc)が可能ですのでそのような方がいらっしゃいましたら、一度ご紹介いただけますと幸いです。

また、当院ではコールドスネアポリペクトミーを導入いたしました。出血・穿孔など合併症のリスクが低いため小ポリープであれば検査同日に日帰りでの治療を行なっております。



この部分にスコープが触れると、吐き気を感じます。

この部分に、スコープは触れにくい。



～コールドポリペクトミーの実際～

内視鏡検査を楽に受けたい患者様、内視鏡治療適応と思われる患者様がいらっしゃいましたら、一度ご紹介いただければ幸いです。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

# 潰瘍性大腸炎の内科的治療について

消化器内科 医長 田中 友隆

## ●潰瘍性大腸炎（Ulcerative Colitis）とは

潰瘍性大腸炎（Ulcerative Colitis:以下UC）は大腸粘膜に炎症が起こり粘血便や下痢、腹痛などの症状があらわれる疾患です。直腸から連続して（あるいは区域性）、粘膜や粘膜下層に「びらん」や「潰瘍」が生じます。さまざまな要因が関与して発症すると考えられていますが原因については現在のところはっきりしていません。再燃、寛解を繰り返すことが特徴で発症すると治療で回復しても再燃する可能性が高い疾患とされています。



## ●内科的治療方法

UCの内科的治療には主に以下のものがあります。

### 〈5-アミノサリチル酸（5-ASA）製剤〉

5-ASA製剤には従来からのサラゾスルファピリジン（サラゾピリン）と、その副作用を軽減するために開発された改良薬のメサラジン（ペンタサ、アサコール、リアルダ）があり、内服や注腸によって持続する炎症を抑えます。5-ASA製剤は軽症から中等症に有効で寛解導入、寛解維持にも効果があります。

### 〈副腎皮質ステロイド薬〉

代表的な薬剤としてプレドニゾン（プレドニン）があり、内服や注腸あるいは経静脈的に投与されます。この薬剤は中等症から重症の症例に用いられ強力に炎症を抑えますが、寛解維持には効果は認められていません。最近では、肝臓で速やかに分解されるブデソニド（レクタブル）という新しいステロイドを使った注腸製剤も使われています。

### 〈白血球除去療法〉

薬物療法ではありませんが血液中から異常に活性化した白血球を取り除く治療法で血球成分除去療法（アダカラム）、血球細胞除去用浄化器（イムノピュア）があります。5-ASA製剤や副腎皮質ステロイド薬で効果が得られない症例の活動期寛解導入や寛解維持に用いられます。

### 〈免疫調節薬または免疫抑制薬〉

アザチオプリン（イムラン、アザニン）は副腎皮質ステロイド薬を中止すると悪化してしまう症例（ステロイド依存例）の寛解維持に有効です。また、シクロスポリン（サンディミュン）（未承認）やタクロリムス（プロGRAF）は副腎皮質ステロイド薬が無効の症例（ステロイド抵抗例）に用いられることが多いです。

### 〈抗TNF $\alpha$ 拮抗薬〉

インフリキシマブ（レミケード）、アダリムマブ（ヒュミラ）、ゴリムマブ（シンボニー）といった注射薬が使用されます。寛解導入効果が認められた症例は、インフリキシマブでは8週毎の点滴投与、アダリムマブでは、毎週もしくは2週毎の皮下投与、ゴリムマブでは4週毎の皮下投与が行われます。アダリムマブとゴリムマブでは自己注射も可能です。

### 〈抗接着分子抗体〉

ベドリズマブ（エンタイビオ）はリンパ球に発現した接着分子（ $\alpha 4\beta 7$ インテグリン）に結合し、炎症を引き起こすリンパ球が腸管粘膜に侵入するのを防ぎます。エンタイビオは0,2,6週で投与され効果があれば8週毎の維持点滴投与が行われます。最近登場したカロテグラストメチル（カログラ）は接着分子 $\alpha 4\beta 1$ インテグリン、 $\alpha 4\beta 7$ インテグリンの両方に作用する内服薬です。

### 〈抗インターロイキン12/23拮抗薬〉

ウステキヌマブ（ステラーラ）は炎症を引き起こす分子であるインターロイキン12およびインターロイキン23を抑えます。ウステキヌマブは8週毎もしくは12週毎の皮下投与が行われます。

### 〈JAK阻害薬〉

炎症性サイトカインのシグナル伝達経路であるJAK（ヤヌスキナーゼ）の働きを阻害する薬です。JAK1,JAK2,JAK3を阻害するトファシチニブ（ゼルヤンツ）とJAK1を阻害するフィルゴチニブ（ジセレカ）があります。トファシチニブ、フィルゴチニブともに経口投与で用いられます。

## ●治療目標

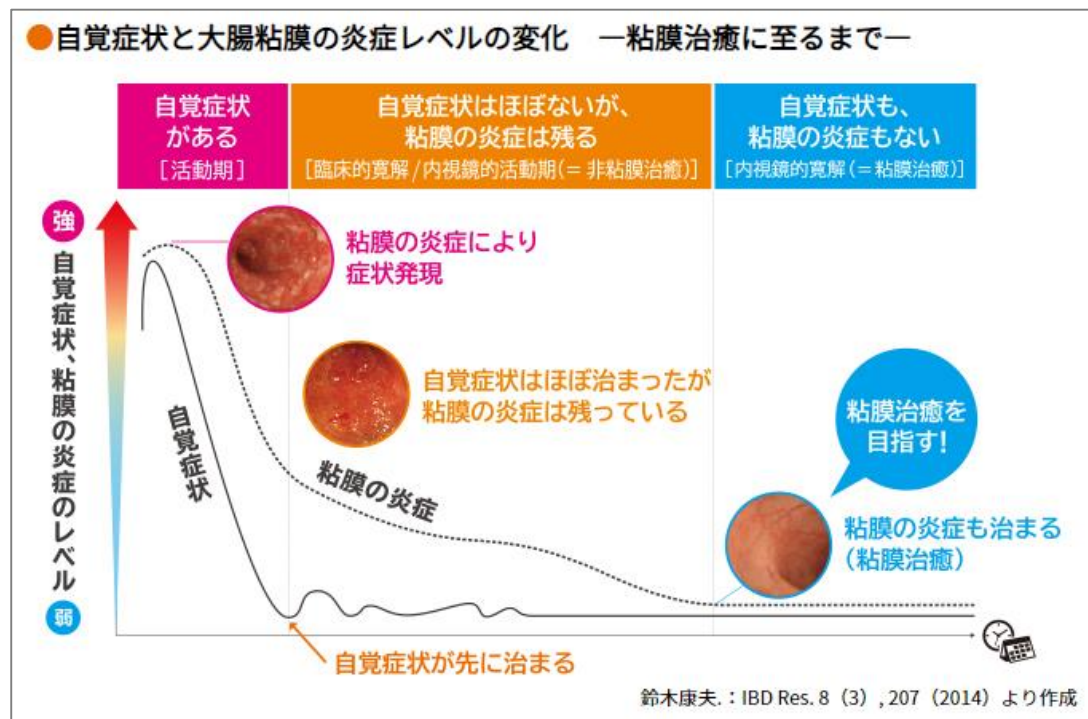
これまでのUC内科治療は臨床症状を抑えて長期寛解を維持し、手術や大腸癌のリスクを低下させ、生活の質（Quality of Life）を回復させることが目標でした。現在では内視鏡的にも炎症が完全に消失した「粘膜治癒」も治療目標に加わっています。

「粘膜治癒」は内視鏡スコアであるMayo Endoscopic Subscore（MES）の0または1を指しており、近年MES 0はMES 1よりも予後が良いと報告され、一段高い治療目標となりました。さらに最近のUC治療では糖尿病や関節リウマチなどの慢性疾患と同様に、明確な治療目標（UCでは「粘膜治癒」）を設定し、その達成の可否で治療強化を行う「Treat to Target戦略（T2T）」が提唱されています。

UCは症例によって病態が異なっていることや、全身に多様な腸管外合併症が出現する可能性、比較的若年齢の症例が多く進学、就職、結婚、出産といったライフイベントがあることなどから長期にわたって継続した治療、T2Tに基づいた治療強化が望ましいと思われれます。前述したようにUCは多くの治療薬（治療方法）がありますが、治療開始時の薬剤選択、再燃時の薬剤変更や追加薬のタイミング、ステロイド治療抵抗例やステロイド依存例に対する薬剤選択など確定したコンセンサスはまだ得られていません。

臨床症状が抑えられない症例や、内視鏡的（組織学的）「粘膜治癒」が達成できずに難渋する症例がありましたら当科でのUC内科治療を御検討下さい。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



## ●消化器内科 外来担当表〔受付時間：8:30～11:30・診察時間9:00～〕

	月	火	水	木	金
午前	石丸 (膵・胆道)	西村 (消化管)	荒滝 (肝臓)	田中 (消化管)	荒滝 (肝臓)
	田中 (消化管)		西村 (消化管)		石丸 (膵・胆道)

# 地域医療連携室よりお知らせ

## ◆お盆期間中の外来診療について

お盆期間中も通常通り診療いたします。

8/10	11	12	13	14	15	16
水	木	金	土	日	月	火
通常診療	休診	通常診療	休診	休診	通常診療	通常診療



## ◆新任医師の紹介

### 小児科

大崎 薫

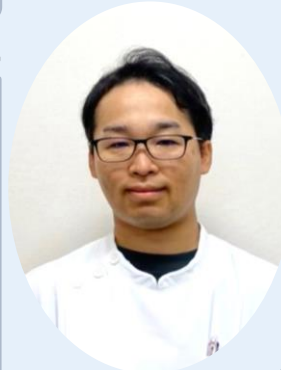
7月から広島大学病院小児科より赴任いたしました。広島のごども医療に貢献できるよう日々精進していきます。若輩者ではありますが何卒よろしくお願いいたします。



### 腎・血液浄化療法科

医長 松本 拓視

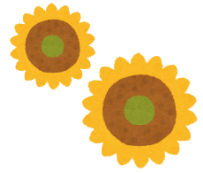
現在、広島大学医歯薬学総合研究科の大学院生なのですが、この8月より腎・血液浄化療法科に赴任して参りました。周辺地域の医療に貢献できるよう精進してまいりますので、ご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



## ◆小児科外来診療変更について

7月より、小児科の外来診療体制を一部変更しております。

●外来担当表〔受付時間：8:30～11:30・診察時間9:00～〕



	月	火	水	木	金
午前	大崎 薫	浦山 耕太郎 (循環器疾患)	水戸川 昂樹	浦山 耕太郎 (循環器疾患)	浦山 耕太郎 (循環器疾患)
午後	水戸川 昂樹 (健診)	(検査) 胎児心エコー	(検査)	大崎 薫 (健診)	(検査)

●受診に関するご案内

- ・循環器疾患に関するご紹介は、火・木・金曜日午前中の浦山医師の外来にご紹介ください。
- ・当日の受診をご希望の場合は、小児科外来までご連絡ください。【代表TEL☎：082-243-9191】

※6月末をもちまして、田原 昌博医師が退職いたしました。在職中はお世話になりました。